

演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302
必修 2単位

奥田 英信

1. 授業の概要(ねらい)

日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、1年間読んでいきます。マーケット情報には、経済・政治のあらゆる情報が集約されています。これをフォローすることで、経済を勉強して行こうというのが、ゼミナールの趣旨です。

① 金融市場の動向を理解する：

少人数のゼミの利点を生かして、日々の金融市場の変化を理解し、説明できるようになる。

② 世界経済の動向を掴みし、自分の将来の見通しに役立てる：

グローバル化した世界経済の中で、自分の将来性について考える。

③ プレゼンテーション(レポート作成)になれる。

少人数で気軽に報告や意見交換する雰囲気を大切にしていきたい。

2. 授業の到達目標

①毎週の市場の変化を、自分で理解できるようになる。

②市場の動きから、世界経済の動向を理解できるようになる。

③自分の意見を、報告レポートにまとめ、分かり易くプレゼンできるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

「無断欠席は3回、報告予定者の無断欠席は1回で、不合格」というルールにします。

授業の事前準備、レポート作成と発表について、総合して評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」

参考文献

必要があれば授業中に指示します。

5. 準備学修の内容

報告者は、分かりやすくプレゼンテーションできるように準備して来てください。

それ以外の参加者は、最低で1つは質問を用意してくること。

6. その他履修上の注意事項

毎週、継続して市場をフォローしていただくことが大事です。常にスキルアップを心がけて、やっていきましょう。必ず、御利益があるはずです。

7. 授業内容

【第1回】 演習の進め方を決定します。以下は、暫定的(とりあえずの)予定です。
テキストのどの章から読むか、だれが何日に報告者するか、など相談しましょう。
将来のやりたい仕事について、各自、考えてきてください。

【第2回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第3回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第4回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第5回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第6回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第7回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第8回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第9回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第10回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第11回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第12回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第13回】 日本経済新聞(朝刊)の「マーケット総合」「投資情報」を、報告者が説明し、それについて質疑応答をする。

【第14回】 世界経済の展望についてのディスカッション

【第15回】 世界経済の展望についてのレポートを各自で作成する。